

2020 (令和二) 年度 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名 和文：惑星物質科学のフロンティア

英文：Frontier of the planetary material science

研究代表者 馬上謙一

参加研究者 大澤 崇人 (JAEA), 村上 登志夫 (学習院大), 早川 岳人 (QST), 丸岡 照幸 (筑波大), 鏡味 沙耶 (JAEA), 岩田尚能 (山形大学), 寺田 健太郎 (大阪大), 吉田 敬 (東京大), 伊藤 元雄 (JAMSTEK), 関本 俊 (京都大), 小長谷 智哉 (東京大), 佐々木 晶 (大阪大), 柴田 裕美 (大阪大)

研究成果概要

2021年3月2日 10:30 AM より, オンライン (ZOOM) にて研究会を開催した.
ひとり, 40 分の持ち時間での発表および質疑応答を行った. 下記に研究会の詳細を示す.

11:00-11:40 馬上 謙一 (北大)

隕石に取り込まれた太陽風起源ヘリウムのイメージング

12:40-13:20 早川 岳人 (QST)

大強度レーザーによる天体環境中の元素合成の模索

13:20-14:00 丸岡 照幸 (筑波大), 西尾 嘉朗 (高知大), 小木曾 哲 (京大), 鈴木 勝彦 (JAMSTEC), 大澤 崇人 (JAEA), 初川 雄一 (QST), 寺田 靖子 (JASRI)

K-Pg 境界層における親銅元素の異常濃縮

14:10-14:50 鏡味 沙耶 (JAEA)

ベスタの熱史解明に向けた玄武岩質ユークライトの年代学的研究

14:50-15:30 岩田尚能 (山形大学), 岡崎隆司 (九大)・三浦弥生 (東大)

地球外物質の Ar-Ar 年代測定にむけて

15:40-16:20 大澤 崇人 (JAEA)

JRR-3 再稼働を前にした即発 γ 線分析の未来

16:20-16:40

ビジネスミーティング

整理番号 I 06